



6月は「ふれあい月間」です

「垣根のない学校」は、“共感”から

私たちの社会には、子供や高齢者、体の大きい人や小さい人、障害のある人やない人、多様な人々が暮らしています。社会に工夫や配慮があれば、私たちの誰もが暮らしやすくなります。相手のことを理解して、分かりやすい言葉で伝える、ゆっくりと時間をかけて話す、多様な方法で相手の気持ちに寄りそって関わる“共感”が大切です。本校は、そんな誰もが安心して過ごせる「垣根のない学校」を目指しています。

理解と適切な支援を求めている子供たちがいます

たとえば、一人ひとり顔や性格が違って個性があるように、障害にも様々な個性があります。学校には、自分の気持ちを相手に伝えることが上手くできず、人と関わるのが苦手な子もいます。一面だけを見て、乱暴な子とか、変な子とか、相手をするのが疲れるとって避けてしまうことはないでしょうか。

一生懸命やっているのに、うまくいかずに、落ち込んだり、イライラしたりしている子供たちが、適切な支援や指導を受けられなかったために、「わがままな子」「乱暴な子」とみなされ、孤立し、傷ついてしまうケースもあるようです。大人の不適切な対応が、子供の二次障害を生んでしまうのです。

でも、一番困っているのは、本人です

「発達障害」は、発達が遅れているということでも、保護者のしつけ方や本人の努力不足などが原因ということでは決してありません。発達の進み方には、早いところや遅いところがあります。「発達障害」とは、コミュニケーションや行動のコントロールなどの発達の進み方に強い個性があるために、上手くできないことや苦手なことが多くなり、日常生活や集団の中で困ってしまう状態です。



集中力がない



興味のあるものをすぐに触ったり手に取ったりしてしまう一方、一つことに集中して取り組むことが難しくすぐに飽きて気が散ってしまう。特に地味な作業や関心の低いことに自分を制して取り組むことが苦手。

じっとできない



授業や朝会でじっとしていることが苦手で、落ち着きがなくて体の一部を動かしたり、その場を離れて立ち歩いてしまったりする。黙っていることも苦手で、静かにする場面でおしゃべりをしてしまうこともある。

こだわりが強い



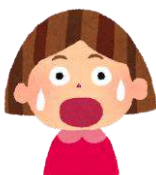
自分の決めたやり方やルール通りに行動できなかったり、活動を急に変更されたりするとパニックになりやすい。こだわっている物や事柄、方法が奪われたり、否定されたりすることで強い不安を感じる。

人に合わせるのが苦手



本当はみんなと仲良くしたいのに、共感や協力することが苦手。相手の考えや立場を踏まえてコミュニケーションをとったり、集団生活で合わせて行動したりすることが難しく、人付き合いにつまずきやすい。

忘れっぽい



短期的な記憶力が弱く、大切なことを頭に留めて置くことが苦手。持ち物や宿題を忘れやすく、注意を受けてもすぐに忘れてミスをしてしまったりする。約束を忘れてしまい友人関係に溝ができることもある。

すぐキってしまう



些細なことでもカッとなりやすく、怒りに火が着くとコントロールが難しい。結果を考えずに行動してしまう。敵意はないので、しばらくして怒りが収まると何事もなかったかのように落ち着く。

特定の教科が不得意



知的発達の遅れがないのに、読み書き、計算などのうち、一部の教科の学習に著しい困難がみられる。不得意分野の現れ方はまちまちで、できる分野もあるため、本人の努力不足といった誤解を受けやすい。

不器用



運動が不得意、手先が不器用など、通常の練習ではなかなか上達しない。手足の動きがかみ合わなかったり、筋肉の力の入れ具合の微調整が利かずにスムーズに動かせなかったり、体育や図工でつまづきやすい。

STEP 1 子供の様子を丁寧にみることから始めます

一斉指導の中では学習や生活、友達との関わりがうまくいかない子供がいます。このような様子が見られる子供には、教室の中での一斉指導を窮屈に感じ、全体の指示についていけなかったり、席を離れたり、友達に手を出したりしてしまうことがあります。その時に教員は、「どうしてかな?」「何に困っているのかな?」と、子供が出している様々なサインへの気付きを大切に、校内で情報を交流しながら様子を丁寧にみることから始めています。



サインを見逃さない

そして教員は、この子供たちにはどんな手立てが有効なのかを探りながら日々の教育に当たっています。その子に合った手立てが比較的容易に見つかることもあれば、複数の教員でアイデアを出し合ってもうまくいかないこともあります。また、昨日までその方法でうまくいっていたのに、今日はどうしても安定しないこともあります。



特別支援教育は、このような子供たちへの具体的な対応を、組織的に丁寧に検討して指導体制を整え、すべての子供が楽しく学校生活を送ることができる環境を作ることを目的としています。



複数の視点で子供を見ていきます

以前は、教員の気付きが中心でした



教員の気付き

- 黒板の文字を写す時になると手が止まってしまうのはなぜかな。
- 書くのに他の子より必要以上に時間がかかるのはどうしてだろう。

丁寧な観察

どんな時に、どんなことで困るのか、じっくり様子を見て記録してみよう!

理解と手立ての例

- 視力に問題はないだろうか。座席を前にして大きな文字で板書してみよう。
- 書く量や時間を調整し、字の形については大目に見ることにしよう。



これからは複数の専門的な視点を加えて



特別支援教育コーディネーター

スクールカウンセラー

特別支援教室専門員

巡回臨床心理士

スクールソーシャルワーカー

大空教室指導員

さくら学級・きこえとことばの教室の教員



このように、心理や福祉の専門家を加えて、「いつ」「どこで」「どのような時」「どんな課題が起こるか」という視点で子供の様子を見て、子供の困り感や課題となるつまずき、困難さなどを具体的に把握することに努めています。

特に低学年では、「生活習慣が身に付いていない」「しつけがよくない」などと、本当に特別な支援を求めるサインを見逃してしまいがちです。学年が上がるにつれて極端に学習が遅れたり、友達との関係がこじれて、登校を渋ったりするようなことにもなりかねません。学校として、できるだけ早く子供の出すサインに気付くことを大切にしています。

STEP 2 学校と家庭の「関係づくり」が支援体制の要です

大切なのは、子供が学校生活で感じている「困り感」や「困難さ」を解消する手立てを具体化することです。そのためには、学校での気付きと家庭での気付きや心配などを相互に交流させて、まずは、一緒に考えていく関係を作る必要があります。

学校と家庭、つまりその子供に関わる大人が「その子のために」という意識で相談し合える関係が無ければ、「困り感」や「困難さ」を改善する取組は始まりません。

ご家庭でも、子供はサインを出しています！

お子さんの得意なこと、 苦手なことをよく見てみよう



ご家庭でも、お子さんの「言葉が遅い」「特定のものへのこだわりが強い」「動作がぎこちない」「集団行動がとれない」などに気付き、心配になったことがあると思います。その状態が成長とともに変わっていくものなのか、学校のような集団の中ではどうなのか、気になるところだと思います。

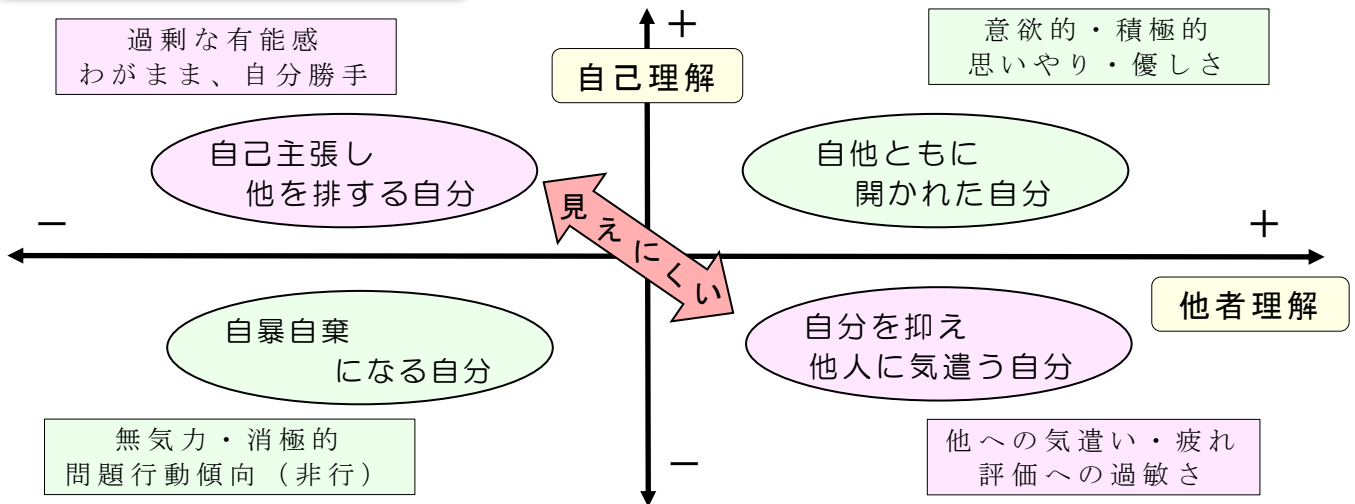
お子さんの困り感

特別な支援を必要としているお子さんは、学校生活の中で一生懸命やっているのに勉強がうまくいかない、周囲についていけない、忘れ物をして先生から叱られるなど、成功体験が少なく、ストレスをため込んで、自信を失っている場合があります。

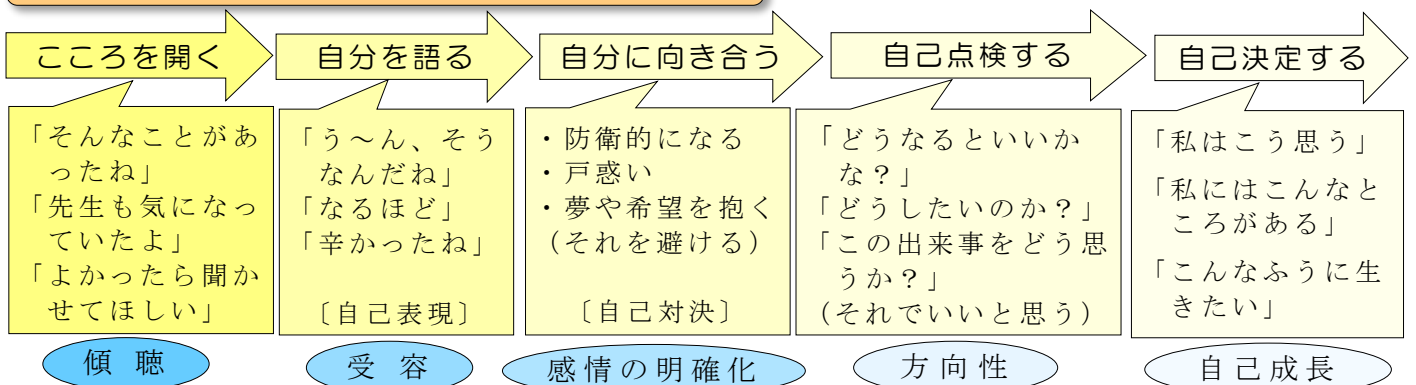


子供の自他理解の援助

自他理解のバランス



セラピー関係 5つの基本ステップ



ちょっと心配と思ったら... → 遠慮せず相談してください

参考資料

富士見の特別支援教育リーフレット

国立特別支援教育総合研究所リーフレット

6月の生活目標

「みんなで富士見をよくしよう」

6月の保健目標

「毎日ハンカチを持ってきましょう」

<6月の行事予定>

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
			1 ふれあい月間(始) 日光事前検診(6)	2 ふじみ寺子屋 日光事前指導(6) こころの劇場(6)	3	4
5 日光移動教室(6) 給食試食会(1・2年)	6 日光移動教室(6)	7 日光移動教室(6) 特別時程	8	9 ふじみ寺子屋	10	11
12	13 耳鼻科検診	14 小中連携の日 特別時程	15 避難訓練 居住地交流(さくら)	16 ふじみ寺子屋 学力向上を図るための調査(4年)	17	18
19 水泳指導(始) 読書旬間(始)	20 セーフティ教室	21 学校公開 クラブ活動	22	23 ふじみ寺子屋	24	25
26	27	28 委員会活動 体づくり週間 (始)	29	30 ふじみ寺子屋 保護者会(2,4,6年) ふれあい月間(終) 読書旬間(終)		

※ 新型コロナウイルス感染防止の観点から、予定が変更になることがございます。メールやホームページでお伝えしますので、ご確認よろしくお願いたします。

水泳指導が始まります

今年度の水泳指導は6月19日(月)より行います。今年度の水泳指導も感染予防の観点から、学年ごとに取り組んでいきます。詳細は、別途、お知らせします。

本校では、全教職員で安全管理に努めていきますが、ご家庭でもお子さんの体調面の管理にご協力をお願いいたします。特に、十分な睡眠時間や、朝食をしっかりとることなど、元気な体で水泳の学習に取り組めるように家庭から送り出していただければと思います。

学校徴収金について

今年度、最初の教材費の引き落としが**6月15日(木)**に予定されております。学年からお知らせした手紙を確認し、ご多様とは思いますが、13日(火)までにご入金をお願いいたします。